

(通し番号)	島田市子ども読書活動推進計画（第四次）進捗状況管理表				A（取組・成果共に、よくできた） B（取組はできたが、成果には課題が残る） C（取組・成果共に、もっと努力したい）		A（取組・成果共に、よくできた） B（取組はできたが、成果には課題が残る） C（取組・成果共に、もっと努力したい）	
	1 家庭における子供の読書活動の推進	担当課	R 5 評価	R 5 取組内容と課題	R 4 評価	R 4 取組内容と課題	R 4 評価	R 4 取組内容と課題
	1-1 (1) 保護者の理解促進のための情報提供や学習会の開催							
	1-1-1 ① 保護者への情報提供							
1	ア 広報紙やホームページ、島田市公式SNSを活用するとともに、家庭教育情報誌や各施設が発行するお便りなどを通じ、ソーシャルごとの受信者に応じた本の情報や読書に関連したイベント情報の発信を行います。	社会教育課	B	市ホームページやしまいくを活用し、読み聞かせ講座を周知するとともに、島田市ペアレントサポーターのおすすめ読本リストを図書館及び各施設に配架し、本の情報を発信した。その他、公民館等が発行するお便りに読本の情報を掲載をする等、連携した情報発信をしていきたい。	B	市ホームページやしまいくを活用し、読み聞かせ講座を周知するとともに、島田市ペアレントサポーターのおすすめ読本リストを図書館及び各施設に配架し、本の情報を発信した。その他、公民館等が発行するお便りに読本の情報を掲載をする等、連携した情報発信をしていきたい。		
2	イ 就学前の全保護者を対象にした「親子ノート」の配布を継続し、島田市ペアレントサポーターが自身の経験談を交えながら、家庭読書や読書の重要性について伝えていきます。	社会教育課	A	市内全小学校で開催した親子講座において、親子で本に親しむことの大切さを掲載した親子ノートを全保護者に配布するとともに、島田市ペアレントサポーターが自身の経験談を交えながら家庭読書の重要性を伝えた。	A	市内全小学校の就学時健診または入学説明会において親子講座を開催し、島田市ペアレントサポーターが自身の経験談を交えながら家庭読書の重要性を伝えた。また、リニューアルした親子ノートにも親子で本に親しむことの大切さを掲載し、全保護者に配布した。		
3	ウ 講座に参加できなかった保護者が、講座内容や受講者の感想などを共有できるよう、より多くの保護者に学びの情報を発信します。	社会教育課	A	講座終了後、市ホームページに参加者の感想を掲載するとともに、講座で配布したおすすめ読本リストを多くの方に手に取ってもらえるよう図書館及び各施設に配架した。また、講座対象年前の親子が参加する子育て広場において、読本リストを配布し、読み聞かせの大切さを伝えた。	A	講座終了後、市ホームページに参加者の感想を掲載するとともに、講座内容を金谷図書館に掲示した。また、講座で配布したおすすめ読本リストをより多くの方に手に取ってもらえるよう図書館及び各施設に配架した。		
	1-1-2 ② 学習会や講座の開催							
4	ア 家庭教育講座や乳幼児の保護者が集まる機会などを通して、子供読書活動の重要性について周知するとともに、学び合う機会を提供します。	社会教育課	B	家庭教育講座において、読本に関するリーフレットを配付し、読み聞かせの重要性を伝える等、周知を積極的に行った。講座内容による、周知と併せて読本に関する情報交換の時間を設けるなど、学び合う時間をつくれるよう検討していきたい。	B	家庭教育講座において、読本に関する冊子やイベントチラシを配付し、読み聞かせの重要性を伝える等、周知を積極的に行った。今後、講座等において、学び合う場をつくってきたい。		
5	イ 家庭教育学級での学習会「つながるトーク」において、家庭読書に関するシートを追加し、読書をテーマに交流することで、保護者同士が共感したり、新たな気づきを得たりするなど学び合う機会を提供します。	社会教育課	A	家庭教育学級教員の学習会及び担当				

	2	地域における子供の読書活動の推進	図書館				
	2-1	(I) 地域施設における図書コーナーの整備と充実					
	2-1-1	● 図書コーナーの整備と図書資料の充実					
14	ア	子供のニーズに合った図書を厳選して購入したり、寄贈本や市立図書館の除籍児童書を精選して受け入れたりすることで、児童センターや児童館、地域子育て支援センターの図書資料が充実するよう支援します。	子育て応援課	B	・毎月のおよびで「おすすめ絵本」を紹介している。 ・おはなしカフェは月1回行っている。 ・図書コーナーの設置、絵本や図鑑（職員が選書）を購入している。 ・毎日隔りの時間を利用して、絵本の読み聞かせや貸し出しを行う。新しい絵本等を見える場所におき紹介している。 ・市立図書館の除籍児童書に関する情報を共有できていなかった。	B	親子で本を読むスペースを確保し読み聞かせに利用してもらったり、利用する子どもの発達に合わせた絵本を選んだり、保護者向けの本を購入し、貸し出しを行った。旧作の絵本や児童書を地域の方や保護者の方から寄贈いただいたものを紹介し、資料の充実に向けている。 ・月齢や季節に合わせて絵本や紙芝居の読み聞かせを行う。あかちゃん講座や行事の中で、図書館の説明やお勧めの絵本などを紹介する。月に一度ボランティアの方によるおはなし会を開催し、お勧めの絵本の紹介や読み聞かせなどを行う。図書館司書または図書館ボランティアの方による、絵本の紹介や読み聞かせを行う。絵本のリサイクルを行う。 ・月間絵本と紙芝居は定期購入し毎月利用の親子に読み聞かせをしている。 ・子どもたちが好きな絵本や興味のある絵本を購入した。 ・職員の型型等のポップを付けるなどの工夫をしている。 ・予算の制限により思うような図書の購入につながらない。
	2-1-2	● 読み聞かせやおはなし会の実施					
15	ア	各施設が独自に企画する子供を対象とした行事の中に、今後も読み聞かせやおはなし会を積極的に取り入れていきます。また、妊娠中の母やその家族を対象とした行事では、胎児期からの読み聞かせの重要性を伝えていきます。	社会教育課	A	金谷公民館の「げんきキッズ」や、北部ふれあいセンターの「おはなしカフェ子供クッキング」、伊久身農村環境改善センターの「おはなしカフェ」において、絵本の読み聞かせを実施した。	A	金谷公民館の「げんきキッズ」や、北部ふれあいセンターの「おはなしカフェ子供クッキング」において、絵本の読み聞かせを実施した。
16	イ	公民館等は、読み聞かせボランティアの活動拠点としての利用を促進し、親子で本に親しむために、本の楽しさや魅力を伝え、本との出会いの場となるよう努めます。	社会教育課	A	6施設において、地域の読み聞かせボランティアが施設を会場におはなし会を実施した。	A	6施設において、地域の読み聞かせボランティアが施設を会場におはなし会を実施した。
	2-1-3	● ボランティアの育成					
17	ア	ボランティア活動をホームページ等で紹介し、関心を持ってくれる人を増やすことに努めます。	社会教育課	A	市ホームページにおいて、各地域のおはなし会や読み聞かせボランティアの活動を掲載し、ホームページを見て新たに1名ボランティアとして加わった。引き続き、読み聞かせボランティアの活動に興味を持ってもらえるよう周知していきたい。	B	市ホームページにおいて、各地域のおはなし会や読み聞かせボランティアの活動を掲載した。新たなボランティア募集にあたり、現在は地域のボランティアが集いおはなし会を実施しているため、どんな人材がどの地域でどのくらい求めているか、各ボランティア団体と打合せして進めている。
18	イ	地域学校協働活動推進員を活用し、保護者や地域から人材を発掘します。	社会教育課	B	地域学校協働活動推進員が各学校の読み聞かせボランティアと連絡調整を行っている。今後、各施設でのおはなし会のチラシ等を作成し、周知するとともに、スタッフとしての参加も積極的に呼びかけていきたい。	B	地域学校協働活動

		3 幼稚園・保育園等及び学校における子供の読書活動の推進	計画期				
	3-1	(1) 幼稚園・保育園等における子供の読書活動の推進					
	3-1-1	● 図書資料・コーナーの充実					
26	ア	幼稚園・保育園等に対して、単に蔵書数を増やすだけでなく、子供の発達段階に応じた興味に沿う図書資料の充実を推奨します。	保育支援課	A	市内保育所・幼稚園・認定こども園・地域型保育所の全34園中、蔵書数が増えた園、発達段階に応じた図書資料を揃えるようにしている園が9割以上であった。 今年度、図書等を購入等し、蔵書数が増えている園→31園 発達段階に応じた図書資料等を揃えるようにしている園→34園	A	市内保育所・幼稚園・認定こども園・地域型保育所の全35園中、蔵書数が増えた園、発達段階に応じた図書資料を揃えるようにしている園が9割以上であった。 今年度、図書等を購入等し、蔵書数が増えている園→31園 発達段階に応じた図書資料等を揃えるようにしている園→35園
27	イ	読書活動の中核である幼稚園・保育園等の図書コーナーがよりの読みやすい場となるよう整備を促します。	保育支援課	A	6割以上の21園が整備を行った。 ・新しく絵本棚を作って年齢別の絵本をそろえなおし整頓した。 ・本のサイズや内容に合わせて棚に整理して並び、片付けしやすいようにシールで色分けをしている。 ・月刊絵本を玄関に展示したり、季節や子どもの興味関心に応じて、各クラスに展示したり、絵本の棚に置く絵本を変えている。また、絵本の部屋の「おすすめの本」などをかえている。	A	6割以上の23園が整備を行った。 ・本棚の整備、カーペットを敷くなどしてコーナーとホールとの区別をした。 ・ゆっくりとくつろいで絵本が見れるようにコーナーに畳を敷いた。 ・季節に合わせた絵本や、子どもたちの興味に沿った絵本を選びやすいよう各クラスに並べて置いた。 ・玄関横のロビーに絵本コーナーを設け、貸し出しを行っている。
	3-1-2	● 職員等に対する研修の充実					
28	ア	子供の発達段階に合わせた選書の知識や情報収集力を養うとともに読書活動に関する技能の向上を図るため、職員を対象とした専門講師による読書活動に関する研修を実施します。	保育支援課	B	7園が研修を実施した。または実施予定。 ・まちよみ、またよみの著者 内田早苗氏の講演に参加 ・月刊絵本を保育園に導入する際、こどものとも社の方に来て頂いて、どのように取り入れるのか教えていただいた。 また、10園が市の図書館職員による研修を希望している。（昨年度から5園増） ・ブックスタート、絵本の選び方、発達や年齢に合った絵本について ・子どもたちが好きな絵本の傾向、読み聞かせの環境づくりについて ・読み聞かせる場合の声のトーンや抑揚を知りたい	B	9園が研修を実施した。または実施予定。 ・こどもの友社「年齢・発達に合わせた絵本の選び方」 ・来年度の年齢別月別絵本選択会議（法人内研修） ・絵本や紙芝居の読み聞かせのしかた また、10園が市の図書館支援員による研修を希望している。 ・ブックスタート、おはなし宅急便 ・歳児、発達にあった絵本の選び方 ・保護者への啓蒙の仕方
	3-1-3	● 関係機関との連携の促進					
29	ア	学校、市立図書館等との連携を密にするとともに、読み聞かせボランティアグループとの連携を一層深め、読書活動を充実させます。	保育支援課	B	市立図書館、読み聞かせボランティアと連携して読書活動を行っている園は20園であり、全体の半分程度にとどまっている。また、昨年度と比較しても1園増の微増となっている。 連携する施設を増やしていく試みを行なう。	B	市立図書館、読み聞かせボランティアと連携して読書活動を行っている

	3-2	(2) 学校における子供の読書活動の推進					
	3-2-1	① 読書活動の充実					
	3-2-1-1	● 学校図書館に係る年間指導計画等の活用					
33	ア	各教科や特別活動、総合的な学習の時間等全教育活動を通して学校図書館の活用と図書活用が図られるよう、各学校で学校図書館に係る年間指導計画等を教育課程にこれまでに以上位置づけます。	学校教育課	A	各校、年間指導計画を元に学校図書館を活用した授業に取り組んでいる。図書館担当と支援員が連携し、状況に応じて活用する方法を検討しながら行うことができる。	A	各校、年間指導計画を元に学校図書館を活用した授業に取り組んでいる。図書館担当と支援員が連携し、状況に応じて活用する方法を検討しながら行うことができる。
	3-2-1-2	● 読書活動及び学校図書館を活用した学習活動の充実					
34	ア	学校図書館の「読書センター」、「学習センター」及び「情報センター」としての機能の充実に努めます。新学習指導要領に基づく「主体的・対話的で深い学び」の視点で授業改善を進め、図書を活用した調べ学習や対話活動、表現活動等を充実させ、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基礎となる資質・能力の育成を図ります。	学校教育課	A	担当者研修会等を通して、学校図書館の「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての機能の充実に努めている。各教科の調べ学習、味見読書、ビブリオバトル、並行読書等学校図書館を利用した授業を今年度も一層充実させていきたい。	A	担当者研修会等を通して、学校図書館の「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての機能の充実に努めている。各教科の調べ学習、ビブリオバトル、並行読書、ICTの活用など学校図書館を利用した授業を今年度も一層充実させていきたい。
	3-2-1-3	● 一人一台タブレット端末と学校図書館、読書活動の連携					
35	ア	タブレット端末を使って調べた資料と学校図書館の資料、読書活動の中で得た情報をつなげて考える学習に意識して取り組みます。	学校教育課	A	タブレットから情報を得ることが増えたが、学校図書館の資料も活用し、学習に取り組んでいる。	A	タブレットからの情報と図書資料からの情報をつなげて学習活動を進めている。
	3-2-1-4	● 多様な文に触れる機会を作る					
36	ア	様々な種類の本を読む機会を授業の中で作っていきます。授業に関連した本の並行読書や新聞を使った学習、新しく始まった外国語に関する本などの紹介をして子供たちの興味を広げます。	学校教育課	A	授業に関連した本の並行読書を中心に、担当や支援員が子供たちの興味を広げる様々な本の紹介を行っている。	A	授業に関連した本の並行読書を中心に、担当や支援員が子供たちの興味を広げる様々な本の紹介を行っている。
	3-2-1-4	● 本に親しむ機会の提供					
37	ア	朝読書や読み聞かせが多くで学校で実施されているので、今後も継続するとともに、よりよい選書や活動内容の充実に努めます。	学校教育課	A	様々なジャンルに触れるよう、引き続き意図的に選書していく。	A	継続して充実を図っていく。様々なジャンルに触れるよう、意識的に取り組む。
38	イ	子供の読書の実態を十分に踏まえた読書活動を推進します。例えば、図書委員会が中心となって、新刊やお気に入りの本を紹介するため、ビブリオバトルや本の帯を企画するなど読書活動を盛り上げるための活動を進めます。	学校教育課	A	各校の実態に応じた活動が図書委員会を中心に行われている。読書週間の中でスタンプラリーや本の紹介など児童生徒のアイデアを生かしたイベントを行っている。	A	それぞれの実態に応じた活動が図書委員会を中心に行われている。読書週間の中でスタンプラリーや本の紹介など児童生徒のアイデアを生かしたイベントを行っている。
39	ウ	家庭での不用品や寄贈本を集め、本の交換コーナーを設置し、子供たちが本に触れる機会を増やします。	学校教育課	B	谷田川報徳社から寄贈される本を含め、家庭からの寄贈本を紹介している学校もある。	B	谷田川報徳社から寄贈される本を含め、家庭からの寄贈本を紹介している学校もある。
	3-2-1-4	● 鳥田市子ども読書100選の推奨					

	3-2-2	② 学校図書館活動を推進・支援する人的な体制の充実					
	3-2-2-1	● 学校体制づくりや司書教諭・学校司書の配置・促進					
47	ア	校内では、校長のリーダーシップの下、司書教諭・学校図書館担当者が中心となり、図書館活動のための協力的な体制づくりを一層推進します。また、司書教諭がコーディネーター的な役割をし、教員一人一人が学校図書館を活用した授業を行えるよう促します。	学校教育課	A	司書教諭や担当者が支援員と連携して図書館活動や図書館を活用した授業を行っている。担任と支援員が連携して行う授業が日常的に行われている。担当者や担任と支援員が打合せをする時間がとりにくい現状はあるが、連絡ノートを活用するなど、各校工夫してスムーズに行われるようにしている。	A	司書教諭や担当者が支援員と連携して図書館活動や図書館を活用した授業を行っている。担任と支援員が連携して行う授業が日常的に行われている。担当者や担任と支援員が打合せをする時間がとりにくい現状はあるが、各校工夫してスムーズに行われるようにしている。
48	イ	12学級以上の学校だけでなく、11学級以下の学校にも司書教諭資格者を配置できるよう努めるとともに、学校内における司書教諭の職務に対する理解を促します。	学校教育課	B	12学級以上の学校は配置できている。それ以外の学校も可能な限り配置している。司書教諭の業務による時間確保については授業時数の増加や人員等により、多くの課題がある。	B	12学級以上の学校は配置できている。それ以外の学校も可能な限り配置している。司書教諭の業務による時間確保については授業時数の増加や人員等により、多くの課題がある。
49	ウ	学校司書の数校兼務が解消されるように計画的に配置します。	学校教育課	B	学校図書館支援員については、引き続き体制を検討していく。現状2校兼務で行っていく。	B	引き続き体制を検討していく。現状2校兼務で行っていく。
50	エ	コロナ禍でリモート授業が実施されるなど、子供たちの学習環境変化を余儀なくされ読書活動も制約されがちですが、家庭での読書を奨励したり、課題図書を紹介したりするなど、働きかけをします。	学校教育課	A	積極的に読書活動を推進するために、図書館担当教諭、学校図書館支援員等を中心に、良書の紹介などに取組、働きかけを行っている。	A	学校司書を中心に、積極的に読書活動を推進するために良書の紹介などに取組、働きかけを行っている。
	3-2-2-2	● 学校図書館に係る研修の実施					
51	ア	図書館教育や読書指導の一層の充実を図るために、今後も司書教諭・学校図書館担当者や学校司書を対象とした研修会を年2回以上開催し、資質の向上を図ります。	学校教育課	A	図書館教育、読書指導の充実の一環として、研修会の中で「鳥田市子ども読書100選」の改定を行った。改定作業の中で、図書や各校の学校図書館運営状況等の情報交換を行った。	A	司書教諭・図書館担当者・学校司書を対象とした研修会を開催し、資質の向上が図られている。図書館で開催し、実際に連携してどう取り組んでいくかを具体的に検討することにも取り組んでいる。
	3-2-2-3	● 学校司書・図書ボランティアとの連携					
52	ア	学校司書は、学校図書館の諸事務に当たるとともに、レファレンスサービスや教材等の準備への協力など、教員と連携します。	学校教育課	A	学校司書が積極的に教職員に働きかけ、教材の準備等を行っている。授業者と連携しながら学校図書館を活用した授業作りに取り組んでいる。	A	学校司書が積極的に教職員に働きかけ、教材の準備等を行っている。授業者と連携しながら学校図書館を活用した授業作りに取り組んでいる。
53	イ	学校の読書活動の充実と学校図書館の活性化のために、各学校の実情に応じて、静岡県子ども読書アドバイザー等を活用し、ボランティアを導入したり、ボランティアとの協力体制を整えたりしていきます。	学校教育課	A	ボランティアによる学校図書館の環境整備や読み聞かせ等が、積極的に行われている。	A	学校図書館の環境整備や読み聞かせボランティアなど、積極的にボランティアの活用が行われている。
	3-2-3	④ 学校図書館環境の充実					

	4 市立図書館における子供の読書活動の推進		担当課				
	4-1	(1) 市立図書館の整備と事業の充実					
	4-1-1	● 図書資料等の充実					
64	ア	子供の読書意欲を高め、調べ学習に取り組む子供の期待に応えることができるよう資料の充実を目指し、そのための資料費の確保に努めます。	図書館課	A	・毎週、選書会議を開き、調べ学習に役立つ児童書を選書している。 ・R6年度は、前年と同額の予算を確保できた。	A	・毎週、選書会議を開き、調べ学習に役立つ児童書を選書している。 ・R5年度は、前年と同額の予算を確保できた。
65	イ	図書館の本を利用したくなるよう、各館ごと、毎月異なるテーマで特集コーナーや企画展示を実施します。	図書館課	B	・児童の利用増加を図るため、長期休暇前に金谷地域の小中学校の学校図書館に市立図書館蔵書紹介コーナーを設置し、休暇中の図書館利用を促した。 ・「鳥田市立図書館にきてね」という新刊リストを市内の小中学校全校に掲示している。 ・各館の児童書フロアに、季節や行事に沿った特集コーナーを設置している。 しかし、小中学生の利用は減少傾向にあるため、学校を通して市立図書館の利用を促していきたい。	B	・児童の利用増加を図るため、長期休暇前に金谷地域の小中学校の学校図書館に市立図書館蔵書紹介コーナーを設置し、休暇中の図書館利用を促した。 ・「鳥田市立図書館にきてね」という新刊リストを市内の小中学校全校に掲示している。 ・各館の児童書フロアに、季節や行事に沿った特集コーナーを設置している。 しかし、小中学生の利用は減少傾向にあるため、学校を通して市立図書館の利用を促していきたい。
66	ウ	小学校高学年から中学生、高校生向けの本を集めた「YA（ヤングアダルト）コーナー」の資料を充実していきます。	図書館課	B	・市内の小中学校・高等学校へ、市立図書館からのおすすめ本や利用案内を載せたチラシを配布した。 ・毎週選書会議を開き、中高生向けの本を選書している。 ・地元の中学生がボランティアとしてYAコーナーの整備を行った。	B	・市内の小中学校・高等学校へ、市立図書館からのおすすめ本や利用案内を載せたチラシを配布した。 ・毎週選書会議を開き、中高生向けの本を選書している。 ・地元の中学生がボランティアとしてYAコーナーの整備を行った。
	4-1-2	● 子供と本を繋ぐ活動					
67	ア	「おはなしマラソン」や毎月の定期的な「おはなし会」、「おはなし宅配便」、「おはなしギフト」を読み聞かせボランティアと協力し、実施していくとともに、子供が本に親しむきっかけを広く提供できるよう努めます。	図書館課	A	・3館でおはなし会を実施した。 ・鳥田図書館で、おはなし会とイベントを組み合わせた「ぬいぐるみの図書館おとまり会」を開催した。 ・「おはなしマラソン」を鳥田・金谷図書館で実施した。 ・認定こども園・幼稚園・保育園・こども発達支援センターで「おはなし宅配便」を実施した。 ・地域子育て支援センター、つどいの広場、子育て広場において「おはなしギフト」を実施した。 ・「おはなし宅配便」「おはなしギフト」に図書館員だけでなく、県読書アドバイザーが参加することで、保護者に読書の大切さを周知する機会を増やした。 これらの事業により、子供が本に親しむきっかけ作りを幅広い分野で行うことができた。	A	・新型コロナウイルス感染防止対策を取り、例年通り3館でおはなし会を実施した。 ・鳥田図書館で、おはなし会とイベントを組み合わせた「ぬいぐるみの図書館おとまり会」を開催した。 ・「おはなしマラソン」を鳥田・金谷図書館で実施した。 ・認定こども園・幼稚園・保育園・こども発達支援センターで「おはなし宅配便」を実施した。 ・地域子育て支援センター、つどいの広場、子育て広場において「おはなしギフト」を実施した。 ・「おはなし宅配便」「おはなしギフト」に図書館員だけでなく、県読書アドバイザーが参加することで、保護者に読書の大切さを周知する機会を増やした。 これらの事業により、子供が本に親しむきっかけ作りを幅広い分野で行うことができた。
68	イ	保護者が、赤ちゃんの泣き声や子供のおしゃべりを気にすること					

	4-2	(2) 学校図書館や幼稚園・保育園等、公民館等との連携	図書館課				
	4-2-1	● 施設見学、読書体験の受け入れ					
80	ア	図書館見学の受け入れを積極的に行之い、図書館のしくみや利用方法、本の探し方などについてわかりやすく解説します。また、見学に合わせ図書館カードを作成することで、利用促進に繋がります。	図書館課	A	<施設見学の受け入れ> ・島田図書館 15校 331 人（うち市外小学校 1 校19人、実業高校 1 校95人） ・金谷図書館 3校、151人（うち市外小学校1校13人） ・川根図書館 1校 138人 ※市内の小学校17校中16校の児童を受け入れ、利用案内を行った。	A <施設見学の受け入れ> ・島田図書館 14校 798 人（うち市外小学校 1 校15人、実業高校 1 校167人） ・金谷図書館 2校、136人 ・川根図書館 1校 165人 令和5年2月12日現在 ※市内の小学校17校中15校の児童を受け入れ、利用案内を行った。	
81	イ	中学生、高校生、大学生の読書体験や小学生の一日体験図書館員の希望者を受け入れ、図書館業務について理解を深めてもらいます。	図書館課	A	・中学生の読書体験学習（島田5校7人、金谷3校5人、川根1校3人） ・小学生夏休み一日体験図書館員（島田16人、金谷8人、川根4人） ・大学生インターンシップ（島田2人）	B ・中学生の読書体験学習（島田3校5人、金谷2校2人、川根0校0人） ・小学生夏休み一日体験図書館員（島田8人、金谷4人、川根2人） ※コロナ対策のため、受入人数を増やすことは難しい。	
	4-2-2	● 関係機関との連携					
82	ア	団体貸出サービスやレファレンスサービスを知ってもらい、有効に活用していただくよう、公民館等、幼稚園・保育園等及び学校など関係機関に周知します。	図書館課	B	・団体貸出などについての利用案内を各学校へ配布した。 ・夏休みなどの長期休暇の前に、市立図書館の蔵書紹介コーナーを学校図書館内に設け、長期休暇中の市立図書館の利用を促した。 ※団体貸出の増加には至っていない。	B ・団体貸出などについての利用案内を各学校へ配布した。 ・夏休みなどの長期休暇の前に、市立図書館の蔵書紹介コーナーを学校図書館内に設け、長期休暇中の市立図書館の利用を促した。 ※団体貸出の増加には至っていない。	
83	イ	健康づくり課と共催している「ブックスタート事業」以外にも、他課等と連携した新たな読書支援事業を実施し、子供たちとその保護者に読み聞かせの大切さを伝える機会を作ります。	図書館課	B	・社会教育課主催の研修会に講師として出席した。 ・不登校の子を支援するNPO団体へのおはなし会を実施した。	A ・社会教育課主催の研修会に講師として出席した。 ・地域子育て支援センターにおいて出前講座を実施した。 ・こども館主催の「すくすくタイム」での講演に講師として出席した。 ・子育て応援課主催の地域子育て支援センター職員向け講座に講師として出席した。 ・不登校の子を支援するNPO団体へ向け、おはなし会を実施した。	
84	ウ	子供たちに一人一台貸与されたタブレット端末に図書館のホームページを登録してもらい、端末から本の検索や予約ができるよう学校に働きかけます。	図書館課	B	司書教諭研修会で、子供達の端末に図書館のホームページを利用し、資料の検索や予約をしてもらうよう呼び掛けた。	B	司書教諭研修会で、子供達の端末に図書館のホームページを登録し、資料の検索や予約をしてもらうよう呼び掛けた。
85	エ	図書館職員が学校司書や司書教諭の連絡会に出席し、図書館の広報をするとともに各々の学校と個別にどのように繋がりが、可能性を広げていけるかを話し合います。	図書館課	B	学校司書や司書教諭の連絡会に出席し、交流することで各校と繋がりが、個別の対応（本の除籍補助、選書のアドバイス等）をすることができた。	B	学校司書や司書教諭の連絡会に出席